

第2学年3・4組男子保健体育科学習指導案

指導者 教諭 末澤 和士

1 単元名 バレーボール

2 単元について

- (1) 本単元のバレーボールは学習指導要領E球技(1)イ、(2)、(3)に示されているネット型の競技で、身体を操作してボールを空いている場所へ返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うところに競技の面白さがある。第1学年及び第2学年の技能面では、ラリーを続けることを重視して、ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによる空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。この単元では、プロプレーヤーや上手な仲間を観察して攻撃に関係する「美しい動き」をイメージする力、仲間と共に様々なコミュニケーション方法を駆使して、荒削りな動きから「美しい動き」に改善していく力を、付けたい力とする。バレーボールは、グループ内で意図的にボールをつなぎ合い、攻撃へ結びつけていくところに、他のネット型競技とは違う点がある。バレーボールを学習する上で、相手を想うボール操作や声掛けが必要になること、また、グループで約束した動きやボール運びに対して、自身の最善の判断と連動をすること等、自分と仲間とのつながりがボールのつながりに強く反映されるため、練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を支援しようとする活動をバランスよく行うことができると考える。
- (2) 本学級は、男子1組15名、2組16名の複合学級である。これまでの体育の授業から明るく積極的に取り組んでいる。また、1年次にバレーボールを既習しており、興味があると肯定的な回答をする生徒が多い。ゲームの中でボールをつなぐ楽しさを味わい、意図的に攻撃しようとグループ内で役割を分担してチャレンジする姿勢が見られた。しかし、攻撃に関する動きの中でスパイクジャンプとアタックヒットをするタイミングが合わないミスをしたり、ボール操作の場面で落下点に入れず手先だけでボールを扱い、不安定なパスで失点につながったりと、動き全体に荒削りなプレーが目立つため、相手からの返球に対する瞬時の素早い動き、自陣でボールをつなぐためのパターン化された動きについて個別の指導が必要である。
- (3) この単元を指導するにあたって、次の点に留意したい。
- ・教師が「美しい動き」のイメージを例示し、視覚に訴える場面を設定する。
 - ・ペアワーク、グループワークなどの学習形態を適宜取り入れることで、互いに教え合い・学び合う習慣を身に付け、コミュニケーション能力の育成を図る。
- バレーボール学習に対する意欲をさらに高めるため、生徒の興味・関心のあるプレーヤーや模範になる生徒を取り上げる。
- ◎できなかった動きやボール操作が、上達していることを実感できる場面の設定を行い、バレーボールの楽しさを十分に味わわせる。
- ◎目標をもって練習やゲームに取り組ませ、個人のより良いパフォーマンスにつなげる学習集団を育成する。

3 評価規準

運動や健康・安全についての 関 心・意 欲・態 度	運動や健康・安全についての 思 考・判 断	運 動 の 技 能	運動や健康・安全についての 知 識・理 解
・球技に積極的に取り組む。 ・ルールやマナーを守り、相手を尊重するフェアなプレーに取り組もうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとする。	・自己やグループの課題を見つけている。 ・学習した安全上の留意点を練習や試合の場面に当てはめている。 ・ボール操作やオフザボールの動きの技術を身に付けるための、運動の行い方のポイントを見つけている。	・タイミングよくジャンプしてアタックヒットし、相手コートに返球ができる。 ・相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 ・味方が操作しやすい位置にボールを運ぶことができる。	・技術の名称や行い方について、具体例を挙げている。 ・ボールを放置しない、ボールを捕球する際に声を掛け合うなどの安全に気を配ろうとしている。

4 学習指導計画

- (1) オリエンテーション、ドッジボール …… 1時間
- (2) クイック攻撃、オープン攻撃 …… 3時間 (本時2/3)
- (3) ブロック、サーブ、レシーブ …… 3時間
- (4) ゲーム …… 3時間

5 本時の学習指導

(1) 目標 グループで協力して、クイック攻撃の練習をし、美しいプレーに近づけることができる。

(2) 学習指導過程

	学習活動	生徒の予想される反応	指導上の留意点
つかむ	1 挨拶と Warm-Up をする。 (1) 挨拶をする。 (2) 準備運動をする。 (3) バービージャンプ 10 回 (4) 落下地点入り遊び	・準備運動を入念にするぞ。 ・体調が悪いから、プレー以外でグループに貢献できることをするぞ。 ・大きな声を出して、気持ちを高めるぞ。	・けが防止を意識させ、準備運動を正しく行わせる。 ・体力を高める意識で、バービージャンプを正しく行わせる。 ・衝突事故が起こらないように、遊びを行う向きとタイミングを指導する。
つかう	2 本時の学習課題を確認する。	・クイック攻撃ができるかなあ。	発：相手の守備の体制が整わないうちに攻撃をしてみよう。
	学習課題 「グループで協力して練習し、美しいクイック攻撃を作り上げよう。」		
	(1) V リーグなどの映像を見る。 (2) 練習モデルを見る。	・上手な人の動きが、なめらかなのはなぜだろう。 ・いろいろな練習方法を試してみるぞ。	助：助走やジャンプするタイミングを細かく分解する。
くらべる	(3) グループごとにクイックの練習を行う。 (4) クイック攻撃のモデルグループを見る。	・グループの仲間であれが上手にできるかな。 ・モデルグループの攻撃をやってみようかな。 ・上手な人の動きに近づいてきたかな。	助：ジャンプする場所によって攻撃の名称が変わることを説明する。 ○グループで助け合い・学び合いができ、その結果が現れているグループに、練習モデルを紹介してもらう。 ◎上手くできているグループから、コツを聞き出し、全グループに紹介する。
つなぐ	まとめ 「グループで協力して、美しいクイック攻撃ができたか。」		
かえる	3 本時の学習を振り返る。 (1) 自己評価を行う。 (2) グループごとに「美しいプレー」を紹介する。 (3) グループごとに意見を共有し、共有したものを発表する。	・クイック攻撃が上手にできるようになった。 ・ジャンプするタイミングをつかむことができた。 ・トスがなかなか合わなくて、上手くクイック攻撃できなかった。 ・タイミングを合わせるのが難しいな。	◎今後の活動に活かせるよう、各グループにクイック攻撃を紹介させ、より良いパフォーマンスの在り方を再度考えさせる。 ◎自分たちの攻撃とほかのグループの攻撃の違いや共通点に気づかせる。
	4 次回の確認、挨拶をする。 (1) 片付け (2) 次回の確認と挨拶		・けがをしていないか確認し、丁寧に片づけするよう指導する。 ・元気なあいさつに対して称賛する。

(3) 評価

- ・グループで教え合い・学び合いができ、グループでクイック攻撃のコツをつかんだか。
- ・よりよいイメージを持つことができ、理想のフォームや動きを身に付けることができたか。